

広尾館だより

秋号 (Vol.43: 2025年10月発行)

夏休みが明けました。これまでのことを振りかえり、新しいチャレンジを考える方もいると思います。そんな時には図書館がお役に立つかもしれません。図書館には看護や医学だけでなく、歴史や科学、小説や人生論まで、さまざまな分野の本があります。興味引かれるタイトルを見つけたら、ぜひ手にとって、秋の空を見上げる席でゆっくりと読んでみませんか。ささやかながらヒントが見つかるかもしれません。

秋の読書案内

「夢なんてあってもなくてもいい」「人生はどっちに行ってもいい」
もったわがままになれ」
これは、前・明石市長の泉房穂さんが、本書で語っている言葉です。自身の生い立ちや政治家としての活動を通して感じた、人生を生きやすくなるヒントが、親しみやすい語り口で綴られています。学校のこと、人間関係、将来のこと、仕事、家族、キャリア……。日々考えることが多く、そのたびに悩みが尽きないのではありません。うしろから、物事を見られたら、人生はもっと自由で、可能性に溢れていることに気が付くかもしれません。

「当たり前じゃなくていい」「自分の心に忠実に、いい意味で、わがままに生きれば、道は開ける」
本書は、そんな視点の転換や、他人に振り回されないマインドの持ち方、「人生の師」との出会いなどが詰まった一冊です。大学生活の中で、進学・就職・結婚など、将来について考える機会が増えてきた人も多いと思います。普通ってなんだろう？、このままでいいのかな？と、ふと立ち止まる瞬間があったとき、ぜひ手に取ってほしい本です。

SNSで自分の好きな情報ばかりが流れてくる今だからこそ、少しだけ立ち止まって、本も読んでみませんか？



『20代をどう生きたらいいのか
こんなオッチャンが語ります』
泉 房穂 (さくら舎)
【配架場所(分類番号)】 開架・図書(159/I)

案内人: (TBC会員 看護学部4年生R・T)

開館日・開館時間
は変更になる可能性
があります。



大宮館、最新情報についてはHPへ

広尾館 開館カレンダー

通常開館	月~金 8:50 - 21:00 土 10:00 - 17:30						
	*土曜日は本学在籍者限定 *幹部看護訓練センター研修生は土曜のみ利用可						
短縮開館	8:50 - 14:00						
休暇中開館	8:50 - 17:00						
閉 館							
10月							
日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		
11月							
日	月	火	水	木	金	土	
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30							
12月							
日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

学生Web選書の 本が並びました

学生Web選書が6月16~22日に開催されました! 学生有志の皆さんにWeb上でたくさんの本を選書していただいたものが、学生選書コーナーに並んでいます。人気作品から興味深い作品まで様々です。ぜひ見に来てください!

次回の学生選書ツアー参加者募集中!

開催日時: 11/28(金) 15時~17時

場所: 紀伊国屋書店新宿本店

※実際に書店に足を運んで選びます。

募集人数: 先着15名

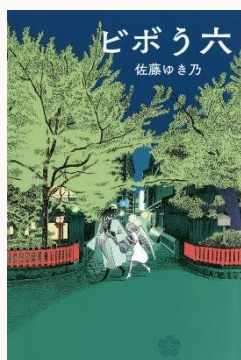
締切: 11/21(金)



ふるってご参加ください。



お気に入りの一冊



樋口佳栄先生のお気に入り

『ヒボウ六』佐藤ゆき乃(ミシマ社)

<第3回京都文学賞を受賞したファンタジー小説です。暴力や容姿への悩みを抱える主人公・小日向が「夜の京都」に落下し、記憶を失ったことで物語が始まります。怪獣ゴンスとの交流を通じて、忘れたくないこと、自分を愛することの難しさ、誰かに愛される奇跡が描かれます。>

…とAIさんはまとめてくださいました。心地よいほの暗さの中に、かなしみややさしさ、切なさがまじりあい、涙がこぼれました。2階の学生ラウンジの図書コーナーにひっそりと置いておきますね。ゴンスに会いたくなったら、ぜひ訪れてみてください。

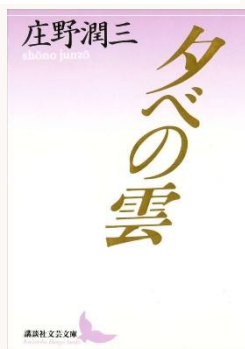


川崎修一先生のお気に入り

『年収1億円になる人の習慣』山下 誠司(ダイヤモンド社)

お金持ちになるための本ではありません。真に充実した人生にするための本です。そのためには「凡事徹底」、つまり「平凡」を「非凡」に継続することが「本物」の共通点だと教えてくれる。著者・山下誠司さんの実体験やリアルなエピソードが満載で、働き方や人との付き合い方を見直すヒントがたくさん詰まっています。自分を変えたい、変わりたいと思っている人には特におすすめです。これからの人生を充実させるための神髄を、この本から受け取ってみませんか？

誰でもできるけれど、誰もやっていない
年収1億円への習慣
・専門学校生、年収100万円からでも1年で年収1億円
・子猫を、学歴を、元金になるお金も、恋愛プラン
・「シグマ」な36の習慣も、徹底して実践するだけ
こんなに簡単だったんだ



細野知子先生のお気に入り

『タベの雲』庄野 潤三(講談社)

昭和の家族の何気ない日常を丁寧に描いた心温まる名作。特別な事件は起こりません。父親の視点から語られるのは、子どもたちの成長、妻との会話、季節の移ろい、近所の人々との交流といった、ごく普通の出来事ばかり。でも、その「普通」がなんて愛おしいのでしょうか。夕食の準備をする音、子どもの笑い声、窓から見える雲の形。庄野潤三の優しい文章は、見過ごしがちな日常の美しさを静かに照らし出します。

忙しい毎日に疲れたとき、家族や友人との時間を大切に思いたいとき、この本はそっと心に寄り添ってくれます。SNSやバイトに追われる大学生活の中で、「本当に大切なもの」を思い出させてくれる一冊。ゆっくりと読み進めるうちに、きっと心が軽やかになるはずです。



司書のお仕事その1



書架を整え、カウンターで本を貸し出す—それだけが司書の仕事ではありません！目に見えない場所で、学生のみなさんの学修や研究を支えるさまざまな業務が、静かに着実に行われています。今回はまず簡単に、本が書架に並ぶまでの“裏側”を紹介いたします。

①本の選定

リクエストなどがあった本の所蔵状況やそれが最新版であるかなどの確認作業。一冊ごと複数の検索方法でチェックしてから購入します。



②本の登録

届いた本をOPACで検索できるようにするための登録作業。背ラベルにある請求記号もこの時に決めます。



③本の装備

本が汚れたり色褪せたりしないよう補強する作業。長くたくさんの方が利用できるように一冊ずつ装備します。(慣れるまでにコツがいります！)



④本の配架

新しいものは新着に、古いものは開架に、利用頻度の低いものは書庫(集密)に配架する作業。(なるべくぎちぎちにならないよう……)

